

3月19日(日)

若者たちによる芸術の祭典

文化芸術活動をする若者を中心に活動している長浜文化芸術ユース会議「はまかるNEXT」の今年度の集大成となる芸術祭「NEXT2017～Nagahama ex-Theater～」が長浜文化芸術会館で開催されました。

「若さって、なんだ!？」をテーマに、地元高校吹奏楽部の発表、若手アーティストのライブ、はまかるNEXTメンバーによるオリジナル舞台などで、会場はおおきに盛り上がりました。



3月25日(土)

市民待望のインターチェンジ、いよいよ開通

長浜市民待望の小谷城スマートインターチェンジが開通し、記念式典が開催されました。

開通により、利便性の向上、観光・産業振興、救急・医療体制の強化、地域間の交流促進などの効果が期待されます。

式典で挨拶に立った地元小谷連合自治会長は、「この開通が地域の幸せにつながることを願っています」と、地元の開通に対する期待の高さを話しました。



3月26日(日)

合言葉は「Challenge & Creation」

平成28年度に策定した「長浜市総合計画」をより多くの市民に知ってもらうために、臨湖で「まちづくりシンポジウム」を開催しました。

シンポジウムでは、長浜で活動する6人をパネリストとしたパネルディスカッションで現在の長浜の動きについて紹介しました。

集まった約140人の参加者はメモを取るなど熱心に聞き入っていました。



3月26日(日)

集団行動からみる、相手を思いやる心の大切さ

長浜文化芸術会館で、日本体育大学の指導者として有名な清原伸彦さんを招いて、「清原伸彦氏スポーツ講演会」が開催されました。

日本体育大学水球部を21年間無敗に導いた指導者であるとともに集団行動の指導・研究を行った清原さんは、相手を思いやる心をもってこそ成立する集団行動の指導理念を熱く語りました。

参加者は今の時代だからこそ学びたい思いを感じ取っている様子でした。

このコーナーは、長浜の見どころ、市民の皆さんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介します。あなたが知っている旬の話題などがあれば、市民広報課（☎65-6504）までお知らせください。市公式Facebookページでもさらに詳しくみることができます。

<https://www.facebook.com/nagahama.hotnews>

「長浜 ほっとにゅーす」

検索

4月2日(日)

美しく、優雅な舞

木之本町の意富布良神社で春季大祭が行われました。

巫女や稚児に扮した小中学生が供物を神前に供え、優雅な舞を踊り、厳かな祭礼に華を添えました。

舞の後は子ども神輿の巡行。男児たちが「わっしょい! わっしょい!」と威勢のいい掛け声をかけながら集落内を巡りました。

沿道から見守る集落内の人々は、笑顔で迎えていました。



4月3日(月)

世界中がブルーに染まる日

国連が定める4月2日の「世界自閉症啓発デー」にちなんで、長浜城がブルーにライトアップされました。

啓発デーには、世界各地でランドマークや名所旧跡を青色にライトアップするイベントが行われており、県内では長浜城のほか、彦根城や瀬田の唐橋なども青く染まりました。

あいにくの雨模様でしたが多くの人が集まり、自閉症をはじめとする発達しょうがいについて考える貴重なきっかけとなりました。

4月4日(火)

曳山の歴史を感じる、最古級の長浜仏壇

米原市多和田の北川周策さんから寄贈を受け、その受領書伝達式が曳山博物館でありました。

寄贈された仏壇は、現存する長浜仏壇では最古級のものになります。中央部は長浜曳山の正面そのもので、長浜仏壇が曳山になったという歴史がよくわかるものです。

北川さんは、「全国から来られる人たちに見てもらえれば、製作に携わった人が喜んでくれると思う」と話しました。



4月9日(日)

英語で話そうお花見パーティー

豊公園で、英語で交流しながらお花見を楽しむイベントが開かれました。

お花見パーティーでの会話はすべて英語で、満開の桜の下での食事やゲーム、写真撮影を楽しみました。

市外の参加者からは、「豊公園に来るのは初めてで、きれいな桜を楽しみながら、英語を学べるいい機会になりました。」との声が聞かれました。